

～松山の思い 届けたい～

ふるさと 松山便

「ふるさと松山便」では、四国・松山の旬な情報をお届けするとともに、皆さんの交流の場として、その他様々な情報を発信していきます。

1月号 Vol.28



—今月の表紙—「かけめし神事」

1月6日、松山市猪木で400年以上続く伝統行事「かけめし神事」が行われました。地元男性2名が「お役者さん」を努め、108本の矢で的を射たり、ご飯2合半を食べ、地域の邪悪退散、五穀豊穡などを祈願しました。

12月 県内の動き

・中村時広愛媛県知事が、県庁に初登庁。「愛顔(えがお)あふれる県政実現」に強い意欲(1日)

松山ニュース

- ・松山市や松山商工会議所などで組織する「坂の上の雲のまち 観光まちづくり事業推進会議」が、俳句を作りながら街を歩く観光商品「松山はいく」を開発(2日)
- ・四国電力が20億円以上を投資し、松山市で四国発となる「メガソーラー」施設の運転を開始(2日)
- ・スペシャルドラマ「坂の上の雲」第2部放映に合わせ、JR四国がドラマの登場人物を描いたラッピング列車を刷新(5日)
- ・国内旅行情報誌の温泉地利用に関するアンケートで、人気温泉ランキング「もう一度行ってみたい温泉地」で道後温泉が全国331の温泉地の中から5位に選ばれる(26日)
- ・東京の子規庵(台東区根岸)に松山の観光俳句ポストが設置される(23日)

—特集—

～第30代 野志克仁(のしかつひと)松山市長に聞く～
「全国に誇れる、わがまち松山」の実現に向けて

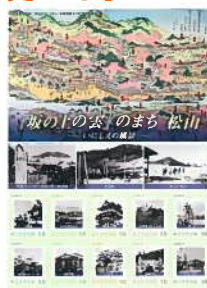
○お知らせ

「古き良き松山」切手 地域限定で発売

愛媛県内の316局で、明治～昭和初期の松山の街並みを紹介するオリジナルフレーム切手を発売。切手は10枚つづりの販売で、1セット900円。

問い合わせ 郵便局株式会社四国支社営業本部

TEL 089-936-5257



発売されたオリジナル切手



竹田子規記念博物館館長(左)から
香取子規庵保存会理事長(右)へ
観光俳句ポストが手渡される

「全国に誇れる、わがまち松山」の実現に向けて

明るく笑顔でインタビューに答える野志市長



昨年11月に第30代松山市長に就任した野志克仁(のしかつひと)市長にインタビュー。野志市長が描くビジョンや市政運営に臨む意気込みなどをお伺いしました。

「就任されて一ヶ月が経ちましたが、振り返っていかがですか。」

11月28日に市長に就任し、あつという間の一ヶ月でした。その間、12月の議会も経験をさせていただきましたが、改めて、地方を取り巻く環境が一層厳しさを増す中において、市政を預かる者としての責任の重さを痛感するとともに、まちづくりの舵取り役として確固たる信念を持って行政運営に取り組んでいかなければならないと思っています。

「市長の公約について」

私がやりたい事、それは「一人でも多くの方を笑顔に 全国に誇れるわがまち松山」の実現です。そのために、私は7本の柱からなる公約を掲げています。それが「誇れる行政サービスで笑顔に」「誇れる言葉で笑顔に」「誇れるまちの安心・安全で笑顔に」「誇れる子育てで笑顔に」「誇れる福祉・医療で笑顔に」「誇れるまちの長所を生かし笑顔に」そして「誇れる地域の宝を磨き笑顔に」



初議会(12月)で所信表明を行う

はじめとして、当面する課題などにスピード感を持って取り組まれてきたところですが、これらの取り組み、そして理念は、私が目指すまちづくりの方向性に相通するもので、しっかりと継承し、一人でも多くの市民から笑顔が溢れるように発展させていきたいと考えています。

「トップセールスについて」

つつい松山のことを東京や大阪に比べると「田舎だから」、「どうせ○○だから」とかいわれる方がいらつしやいますが、「どうせ」なんて言わずに、前向きに考えていただきたいと思っています。前向きになれば、「人」の魅力に気付きますし、「まち」の魅力に気付きます。おかげさまで松山市は温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれ、農水産物やそれらを原料とした加工品が数多く生産されています。まさにこれらは、東京や大阪には無い、松山ならではの魅力であり、地域の宝(資源)です。

に」というように全国に「誇れる」から始まります。松山市は

私はこれらを地域の特色として打ち出し、全国に誇れる松山産の農水産物を通して「松山らしさ」「松山ならではの価値」を自らが先頭に立つて首都圏などでセールス活動を行います。また松山は全国的にも日照時間が大変長いまちとしてご周知のとおりですが、こういった環境を活かして太陽光発電、クリーンエネルギー関連企業の誘致にも積極的な努めていきたいと思っています。



国土交通省津川政務官に対し、駐車場整備推進機構の解散をめぐり要望を行う

「松山ゆかりの方々にメッセージを」

「市長が代わって後退した」と言われぬよう、私の大好きな松山のために、市民の皆さんと力を合せて、皆さんのふるさと松山の発展のために全身全霊で取り組んでまいります。私たちが東京や大阪などでセールス活動を行うに当たっても松山ゆかりの皆様方の協力がなくては前へ向かって進むことはできません。どうか、今後とも松山市のためにお力添えをいただきますようお願いいたします。

●市長プロフィール
昭和42年7月31日生(43歳) 愛媛県松山市出身。岡山大学卒業後、南海放送株式会社に入社し、アナウンサーとして地元人気情報番組などを担当。座右の銘は『至誠通天』、好きな言葉は『一所懸命』。家族は夫人との2人のお子さんの4人暮らし。

お問い合わせ

松山市 東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目4-1 日本都市センター会館11階

TEL 03-3262-0974 E-mail: tokyo@city.matsuyama.eh.m.jp